

リスクマネー支援の現状と課題

平成28年3月9日

総合資源エネルギー調査会 資源・燃料分科会

JOGMEC理事長 黒木啓介

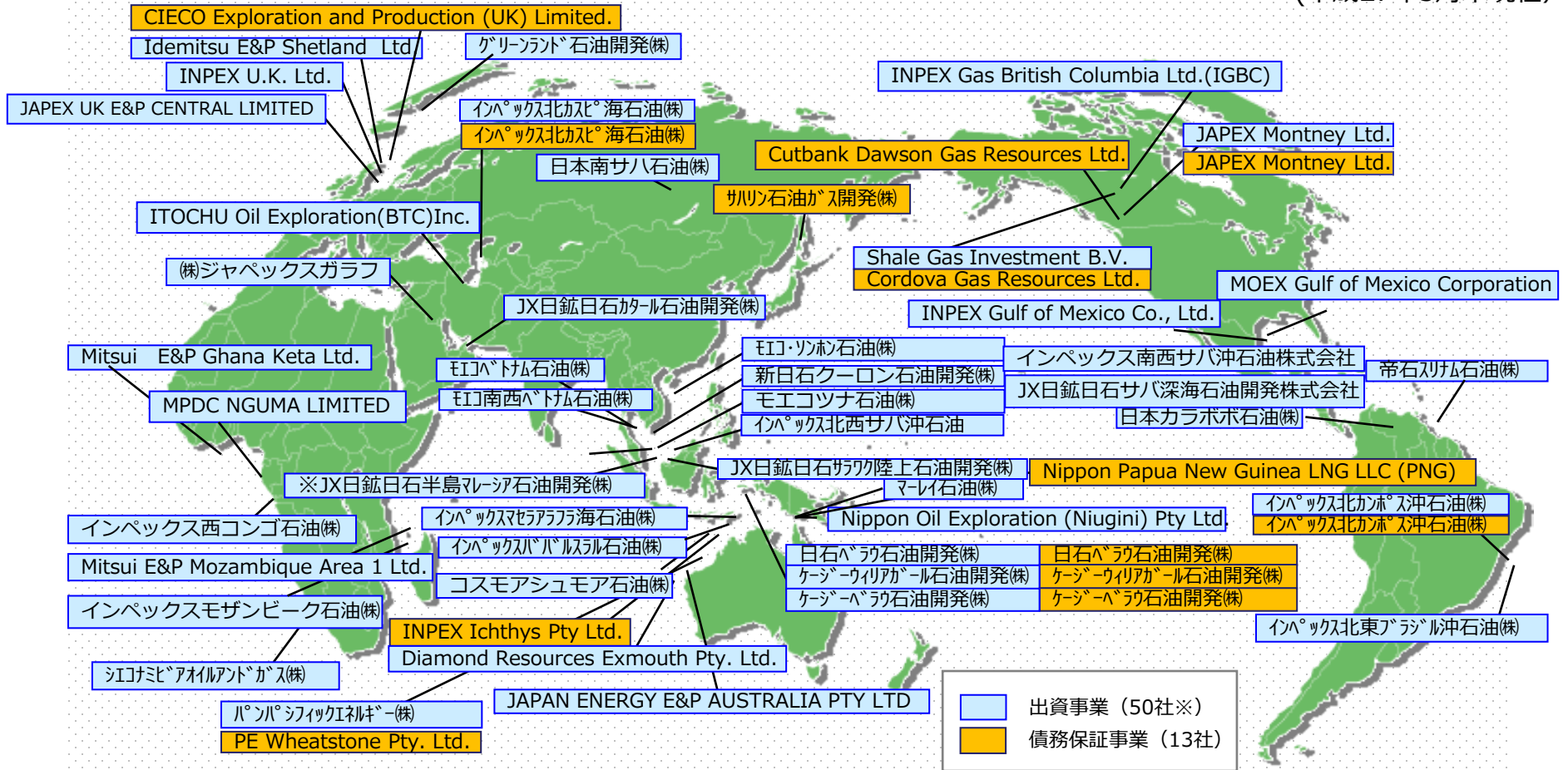
- 1. 現状
 - 1) 石油・天然ガス
 - 2) 金属鉱物
 - 3) 石炭

- 2. 課題
 - 1) 支援財源の確保
 - 2) 制度・運用の見直し
 - 3) プロジェクト審査・管理機能の強化
 - 4) 戦略的な技術開発

1. 現状

1) 石油・天然ガス ①金融支援案件位置図

(平成27年3月末現在)



※1 JX日鉱日石半島マレーシア石油開発(株)は、2011年1月にジャパンエナジーマレーシア石油開発(株)と新日石開発・半島マレーシア石油開発(株)(何れも2008年11月機構出資採択)が合併したものである。このため出資対象事業の社数は同社を2社とカウント。
※2 平成25年度中に清算終了済のケジー・ハバ石油開発(株)、平成26年度中に清算終了済のCIECO E&P (Faroe) Ltd.を含む。

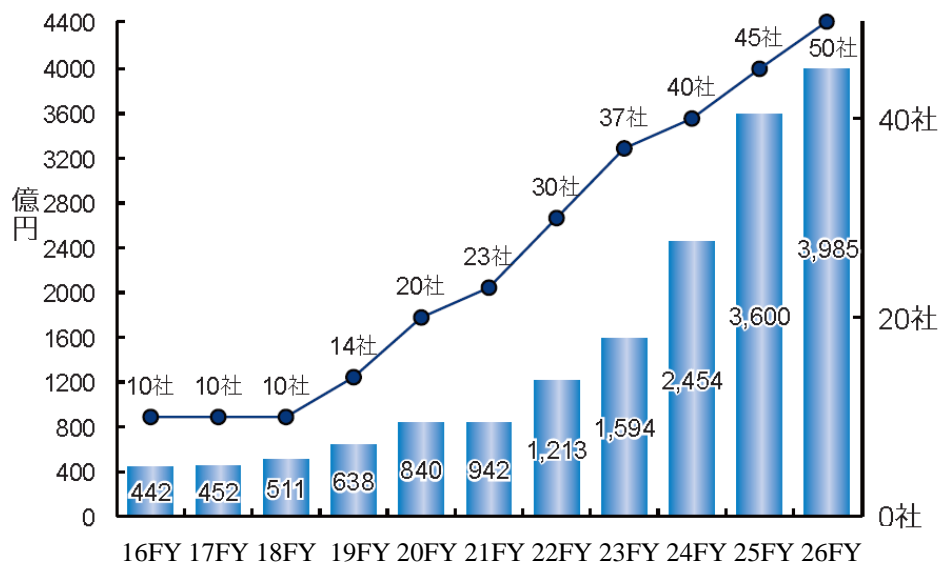
1. 現状

1) 石油・天然ガス ②金融支援実績

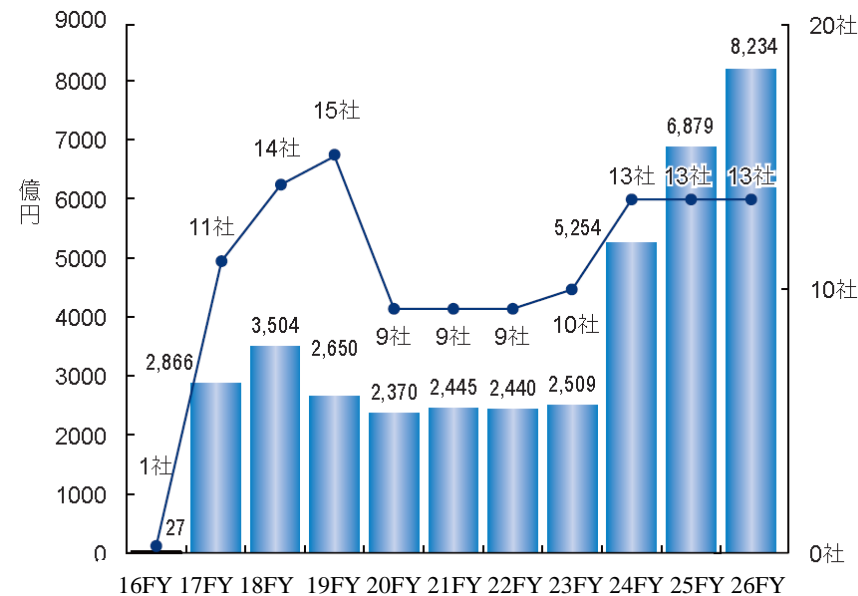


(平成27年3月末現在)

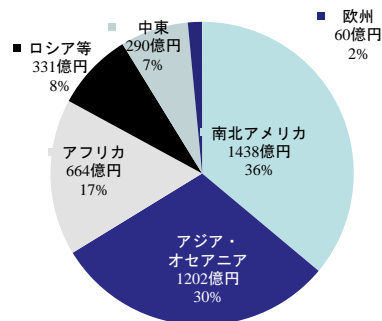
累計出資額推移



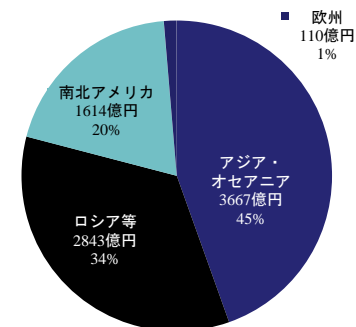
債務保証残高推移



平成26年度末
出資累計額3,985億円
地域別内訳



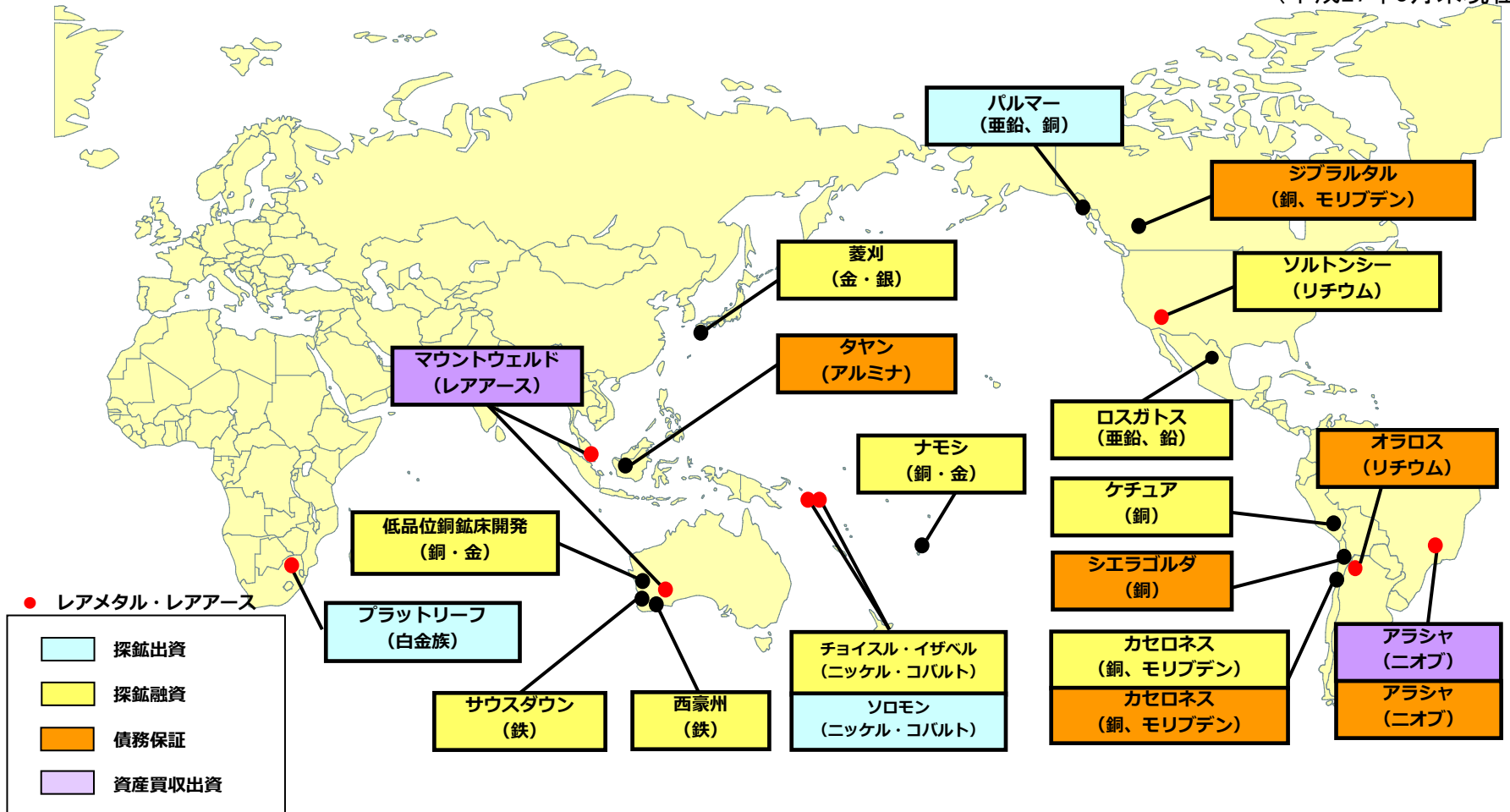
平成26年度末債
務保証残高8,234億円
地域別内訳



1. 現状

2) 金属鉱物 ① 金融支援案件位置図

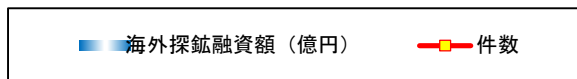
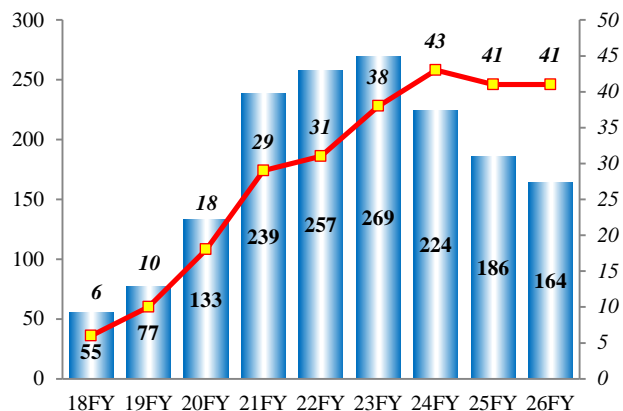
(平成27年3月末現在)



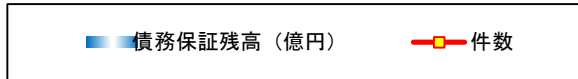
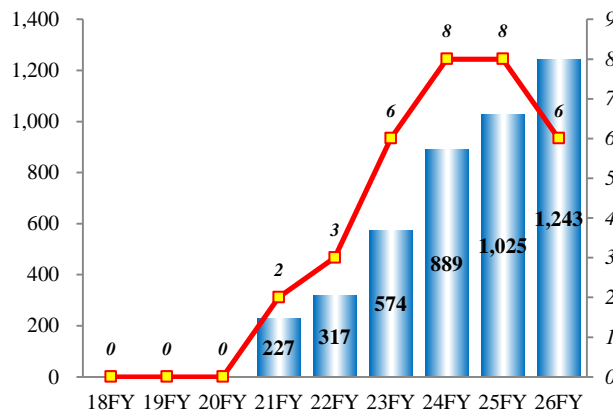
1. 現状

2) 金属鉱物 ②金融支援実績

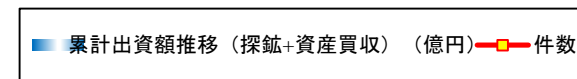
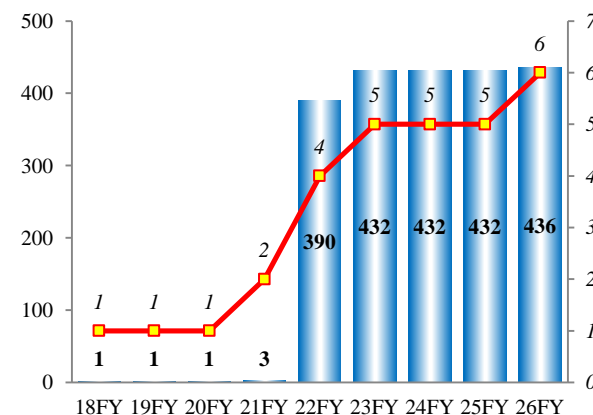
海外探鉱融資残高推移



債務保証残高推移



累計出資額推移 (探鉱+資産買収)



1. 現状

3) 石炭

①現在の取組

海外炭開発高度化等調査(広域4件)

(世界の石炭事情調査(世界16か国)、世界及びアジアにおける石炭市場の取引動向、韓国・台湾及び東南アジア諸国の一般炭需要動向等、我が国への石炭供給にかかるリスク分析等調査)その他情報提供として成果報告会、石炭投資促進セミナーを開催。

中国

海外炭開発高度化等調査(中国における脱石炭の動き等)
産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業(研修事業)

インド

海外炭開発高度化等調査
(インドにおける石炭需給動向等調査)

ベトナム

海外地質構造調査(バクスイライ地域)
産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業(研修事業)

モザンビーク

海外炭開発高度化等調査(石炭開発状況及びモザンビーク炭の市場競争力等調査)
海外地質構造調査(モザンビーク本格調査)
海外炭開発可能性調査(レブポー地域)
産炭国共同支援事業(日本受入・専門家派遣研修事業、
クリーンコールタウン計画策定事業)

● 産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業

- 産炭国からの研修生受入、
産炭国への講師派遣

● 海外地質構造調査

- JOGMECによる初期段階の
地質調査

● 海外炭開発可能性調査

- 民間企業の探査費の
2/3を助成

● 海外炭開発高度化等調査

- 石炭の需給、産炭国の政策、
インフラ状況等の調査

● 産炭国共同支援事業

- 産炭国からの要請に基づく、炭鉱を中心とし
た地域開発プラン策定や環境対策等の調査

● 海外炭技術支援事業

- 石炭現場ニーズ等技術支援事業

カナダ・米国

海外炭開発高度化等調査(投資環境調査)
海外地質構造調査(パリセイドJV)

インドネシア

海外炭開発高度化等調査(森林保全等調査、
石炭鉱業調査、投資環境調査)
海外炭開発可能性調査(GDM炭鉱地域)
産炭国共同支援事業(クリーンコールタウン
計画事業)
産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業
(研修事業)
海外炭技術支援事業(褐炭のブレンド設計
褐炭のコプロダクション改質)

コロンビア

開発可能性調査(ドラモンド)

オーストラリア

海外炭開発高度化等調査(豪州石炭開発・生産動向調査、投資環境調査)
海外炭開発可能性調査(ローレステンサウス地域)
海外地質構造調査(クリフォードJV、キルメインJV、ディンゴウエストJV)

2. 課題

1) 支援財源の確保

- 低資源価格下においても我が国企業の上流投資を下支えしうる十分な支援財源を、国は引き続き確保すべき。
- 現在の状況は、海外の優良資産買収の好機でもあり、十分な情報収集・分析の下で、これを活かす必要あり。

- 低資源価格下においても政策的意義の高いプロジェクトに対しては、従来以上に国がリスクをとって支援すべき。
- 他方、JOGMECが将来にわたり持続的なリスクマネー供給支援を行うため、健全な財務基盤の確保が必要。

- 低資源価格下においても精緻な採択審査が行えるよう、必要に応じJOGMECの審査基準・審査体制を見直す。
- 低資源価格下において不測の経営状況に直面した既存プロジェクトに対して、必要に応じ新たな支援措置を検討できるよう、より重点的に管理を行う。

- 低資源価格下においてプロジェクトの経済性を向上させるために必要となるコスト削減、生産性向上等の要素技術に注目すべき。
- このため、現在、JOGMEC・TRCにおいて「技術開発ロードマップ（仮称）」を策定中。